

ジメジメとした梅雨の季節になりました。
雨の上がった夜には、蛍のかすかな光を楽しむのも
良いものです。いつまでも蛍が暮らせる美しい自然
を守って、雅な夜を過ごしたいものですね。

春に田んぼで泳いでいたおたまじゃくしたちも無事
にカエルになったようで、家の中にも大合唱が聞こ
えてきます。



山の緑も深くなり、当社の花壇でも、お花たちが日に日に元気に成長し
ています。植物たちには恵みの雨かもしれませんが、去年の夏のような水害
にならないよう、ほどほどな梅雨であればいいですね。



OA 事務科 入校生募集中！

訓練期間：平成26年7月18日(金)～11月17日(月) 4ヶ月コース

7月18日より求職者支援訓練「OA 事務科」(4ヶ月コース)が、本社1階教室で
始まります。一般事務に必要なパソコン操作(文書作成、表計算、ホームページ作成等)、
経理事務(簿記、会計ソフト等)の実務的な知識技能の習得を目指します。併せて、
ビジネスマナーやコミュニケーション能力など職業人として求められるスキルを身
に付けます。

知人・友人の方で、仕事就職活動をされておられる方がいらっしゃいましたら、是
非、本校で各種資格を取得されてから、お仕事を探されるのがお勧めです。

卒業された生徒さんは、ワード・エクセルは2級～1級に全員合格、日商簿記検定
3級もほとんどの方が合格されています！(弊社教室の合格率 92%、日商簿記検定は全国
の合格率が 30～40%の難関です。)

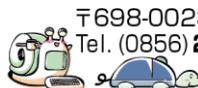
講師一同、生徒さんの資格取得と就職支援に全力でサポートします。

くわしくは、ハローワークへお問い合わせください。



私たちは同じことを、100回聞かれても笑顔でお答えします。

Typic 株式会社 タイピック



〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号
Tel. (0856) 23-2800 代 Fax. (0856) 22-5592 番
<http://www.typic.jp>

タイピックでは、OA 機器・印刷・通信・ホームページ作成からスタッフの技術向上の
お手伝いまで、オフィスの効率的な運営をサポートさせていただきます。

今月の社長のつぶやき

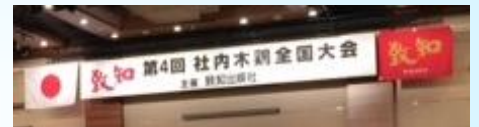
島根県倫理法人会が主催する第3回100日実践トライアルにチャレンジし目標達成いたしました。今回も前回に引き続き「1日一時間以上良い本を読む」にチャレンジしましたが、前は45分しか読めない日が1日あり悔しい思いをしたので、今度こそはと気合を入れて眠たくなったら立読みするなどして頑張りました。

実践トライアルは終わりましたが、これを継続し6月1日から始まる第4回は「2時間以上学を為す」にチャレンジしようと思いながら、5月17日に仙台に行き、致知出版社が主催する第4回社内木鶏全国大会に参加しましたら、その資料の中に「成徳達材」とありました。

「成徳達材」

徳を高め、大成させる。これを成徳^{せいとく}という。

能力を錬磨し、上達させる。これを達材^{たつざい}という。



人は自分を創るために学ぶのだ。そして、人生のあらゆる^{かんなんしんく}艱難辛苦にあっても動じないように、自分を為^{ため}めていく。自分を創るのは利己のためではない。世のため人のために自分を役立てるためである。自分を役立てるには、自己の徳を大成し、自己の才能・能力を錬磨、向上をさせていかねばならない。それが学の本質である。成徳達材することによって、よりよき運命を創っていくのだ(安岡正篤師)とあり、このことを常に意識して勉強を重ねていこうと誓いました。

翌日、仙台からレンタカーを借りて福島県南相馬市の震災地を見てまわりましたが、津波被害にあった田圃は草が生え復興するには相当な年数を要するなと思いながら運転していたら、「牛の追突に注意」の看板がありました。「えっ何故」と国道6号を走っていると、両脇のガソリンスタンド、ストア等も全て閉めてゴーストタウンとなっており、脇道の入り口には警備員が立っておりパトカーにも何台もすれ違いました。さらに車を進めると通行証がないと入れなくなっていました。そこは放射能の関係で「計画的避難地区」となっている浪江町でした。日本にもこんな所があるのだと、現実を目のあたりにしてただただ驚愕するばかりでした。

私は自宅に住み通常に仕事をしていますが、このことに感謝しながら被災されご苦勞されている多くの方々がおられることを常に考え、我が儘を慎み「成徳達材」を改めて心に誓いました。

代表取締役社長 岡崎純二



タイピック社内木鶏(月刊「致知」を読んでの感想)

「小さな会社をキラリと光る存在に変えるブランド戦略」O・S

今回のテーマの中でも特に気になったのが最終ページにある「すべては困りごとの解消」というところでした。この中で村尾さんが最も大切にしているのは、「すべては困りごとの解消」でした。

自分が仕事をしていくうえで、最初のころの月間目標にしていた「お客様の困りごとを解決する」というのを思い出しました。会社としてもお客様のお役に立つというがあるので、やはりお客様のことを考えて「お客様を幸せにしたい」という使命感をもって仕事に取り組んでいけば、お客様からの信頼を得ることもできると思うし、そういった信頼があってこそお客様から商品を買っていただけるようになるんじゃないかとあらためて思いました。

自分の営業が今どんな感じなのか、客観的にみてお客様のことを考えて営業ができているか？商品売ることだけを考えていないか？

もう一度自分の営業方法を考えなおしてみようと思います。

「凡事徹底という力」M・E

記事の中に「私の仕事ではない。あなたの仕事でもない。誰の仕事でもない仕事」が放置されている組織は、そこから腐敗する」と書いてあり思わずドキッとしました。誰かがやらなければならない、やれば5分でできるということも、今は忙しいからとか、めんどくさいからとか勝手に理由をつけて、やらなかったりすることがあります。小さな事でも何とも思わず当たり前のように自分を変えれば、めんどくさいと思うこともなくなると思うし、自然と手が出ると思いました。そして、皆が同じ気持ちでいなければならないということも、すごく大切だと感じました。また記事にも書いてありましたが、「やれ」と言われてやるのと、自分から「やる」と決めてやるのでは、疲れ方が違うということにも納得させられました。好きなことでないとなかなか自分から率先して行動することはできないかもしれないけれど、小さな隙間に気づき、自分からすすんで何でも当たり前のようにできる人になりたいと思いました。

兎澤直樹の「兎に角」伝えたいこと

『素直とは何か』

みなさん、こんにちは。株式会社 船井総合研究所の兎澤（とざわ）と申します。

この度、タイピック便りにコラムを書かせていただくことになりました。

どうぞ、よろしくお願いいたします。



船井総研という会社は、主に中小企業様の業績アップのお手伝いをしているコンサルティング会社です。そして、私たちの会社の創業者、船井幸雄は「成功の三条件」として、「素直」「勉強好き」「プラス発想」を挙げています。

今日はその中でも、「素直」という言葉についてお話したいと思います。

私が船井総研に入社した当時、ある上司から聞かれたことがあります。

「素直の意味って分かる？」

このとき私は、答えられませんでした。なんとなくでしか言葉の意味を捉えていなかったことに気づいたのです。

そのとき上司に言われたのは、「素直というのは、否定も肯定もしないこと。ありのままをいったんそのまま受け入れることだよ」ということです。例えば人にアドバイスされたときや、自分と異なる意見を言われたときに、多くの人はそれを否定しがちです。そうではなく、いったん「そういう意見もあるかもな」と受け入れることで、他の意見も取り入れられるのです。そういう人が成長すると船井幸雄は言います。もちろん鵜呑みにする必要はありませんが、否定もしないということが大切です。

人はそれぞれ価値観や意見は異なります。自分の意見だけにこだわっていると、自分と同じ意見の人間としか付き合えなくなってしまうです。そうすると、自分の生きる範囲も狭くなってしまいます。

どんな異なる意見も受け入れられる広く深い器を持ちたいものですね。

かく言う私も、なかなか素直に受け入れられないことも当然あります。まだまだ修行です。まずは言葉の意味を正しく理解し、意識して実践してみることから始めていきたいものですね。



今月の TOPICS



iPad の裏ワザ その⑥

今月も、iPad で意外と知らない便利な「裏ワザ」をご紹介します。

◆ドッグを活用しましょう！

画面下部に4つアイコンが並んでいます。

この部分を「ドック」といいます。

ドックのアイコンは、[ホーム画面]がどのページであっても、常に同じものが表示されるので、使用頻度の高いアプリのアイコンは、ここに配置しておく便利です。ドックには、最大6つまでアイコンを配置することができます。



①アイコンの上で指を置いたままに（長押し）します。

②アイコンがゆらゆらし始めたらアイコンを移動したい位置までドラッグします。

③[ホーム]ボタンを押します。位置が変更し、通常画面に戻ります。

くわしくは、是非、担当営業マンにお問い合わせください。



ゆっくりやさしいパソコン教室(益田教室)

♪石州和紙紙すき体験&花と絵画を愛でる会 5/18♪

5/18に紙すき体験と花と絵画を愛でる会を開催し、岡見の原田花咲園、三隅の石正美術館・石州和紙会館に行ってきました。

原田花咲園では春のモミジや珍しい花などがとてもきれいに咲き誇っており、珍しい花があると持ち主の原田さんに「これは何という花なの?」とか「6月にはアジサイが咲くの?」「また来てみたいな」など質問攻めでした。

昼食には原田花咲園内の東屋で割烹・仕出しセンターおかむらさんのお弁当。品数が多く、ご飯の上にもたくさんの具がのっていて皆さん「おいしい!おいしい!」と箸を進めることに大忙し。原田さんから、お饅頭やフルーツの差し入れや、パセリや花の苗などのお土産も頂き、皆さんとても喜んでおられました。原田さん、本当にありがとうございました。

石正美術館では館内の学芸員の方による石正美術館設立の由来や石本正先生がどういう環境でどのようなイメージを持って絵を描かれておられるとの説明があり、その解説をもとに観賞すると、絵画の見方も違ってくるのに気づき、大変勉強になりました。

石州和紙会館では、はがきを2枚作成。まずはスタッフの方に紙の作り方を教えて頂き、それから紙すき体験の開始です。2人ずつ指導してもらいながら紙をすき、空いている人はどんなデザインにしようかと考えたり、一緒に指導を聞いたりして準備を整えいざ挑戦。

途中、乾く前に落としてしまい再挑戦という方、乾燥させている時に「もうちょっとこうした方が良かった」といわれている方もおりましたが、最後に完成した紙を見ると、皆さん「いい紙が出来た」と満足一杯の表情でした。

天気も晴れて、とても充実した楽しい一日になりました。



♪微笑ましいお話♪

宇治教室の休憩スペースで使われている折り紙で作られているゴミ箱。いろいろな折り方があるんですね・・・。

丈夫な折り方があると生徒さんが、ヒマを見つけてはお家のチラシで作って、教室に山のように持ってきてくださいました。

たしかによく知られている折り方と違い、四隅のふちが丈夫で、他の生徒さんも折り方に興味津々。急遽、“ゴミ箱折り方レッスン”が始まりました。

かなり高度な折り方で、1度習っても覚えられそうにありませんでしたが、これだけ丈夫なゴミ箱なら、頂いた分だけで10年は持ちそうです(*^*)♪



ゆっくり やさしい
パソコン教室



同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします